

令和5年度 第30回 大学院セミナー

令和5年 6月29日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	歯科補綴学 責任者名(村田比呂司) 分野 内線(7690)
演題 Title	全部床義歯治療における「閉口印象法」を再考する
講師等 Presenter	熱田 生 准教授 (九州大学大学院歯学研究院歯科先端医療評価・開発学講座)
概要 Abstract	<p>近年、高齢患者の増加に加え、インプラント治療のトラブルなど高度顎堤吸収症例が増え、無歯顎症例の難易度は確実に高まっている。このような患者に対して絶対の自信と技術を持って治療に臨めるのは、いわゆる「匠」と言われる一部の歯科医師だけかもしれない。そのため、現在我々は教育機関として、全部床義歯補綴治療の「再現性」と「均一化」をめざしている。すなわち印象材の種類や印象法などの特徴を明確にし、術者の経験や技量に左右されにくい治療方法を模索するものである。</p> <p>本発表ではそのために、無歯顎患者の機能運動、粘膜に隠れた顎骨の形態変化を含む解剖学、印象法や印象材の選択基準をエビデンスと共に示すこととする。皆さんの明日からの臨床に少しでもお役に立てるような発表になれば幸いである。</p>
開催日時 Date and Time	令和5年 7月 13日(木) 17:30~ 19:30
開催方法 Online/Face to face	対面:歯学部C棟2階会議室 2C
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)